

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	川重商事株式会社 代表取締役社長 紀山 滋彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	神戸市中央区海岸通8番

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■電気小売事業 東京エリアおよび関西エリアにおいて、主に中堅または中小規模のオフィスビルや工場等の需要家に電力小売事業を実施しております。</p> <p>■発電事業 平成28年7月現在自社発電所は保有しておりませんが、全国で再生可能エネルギーによる発電所を建設するべくFSを行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力・環境部 電力課	
	連絡先	電話番号	03-6744-1003
		ファクシミリ番号	03-6744-1100
		電子メールアドレス	pps-ksc@corp.khi.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力・環境部 電力課	
	連絡先	電話番号	03-6744-1003
		ファクシミリ番号	03-6744-1100
		電子メールアドレス	pps-ksc@corp.khi.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	川重商事株式会社 東京本社
		所在地:	東京都千代田区神田錦町3丁目13番
		閲覧可能時間	営業時間中(平日9時~18時)
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.411	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.340	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.383	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・LNG火力発電を主な調達電源とし、それに卸電力取引所や常時バックアップによる調達を組み合わせることにより石炭焚きより排出係数の低い電力を提供しております。
 ・バイオマスをはじめとした再生可能エネルギーによる発電所の建設を計画し、FSを実施しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	0	0.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

再生可能エネルギーによる発電所の設立を計画中であり、また他者購入電力においても再生可能エネルギーによるものを検討しており、小売供給における再生可能エネルギーの割合拡大に努めます。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

自治体の保有する清掃工場の廃棄物発電による電力調達を目指します。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所を保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・LEDや高効率空調機器などの省エネ機器の販売を行っております。
- ・需要家に対して電気使用量削減に向けて各種提案を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・営業車にハイブリットカーをはじめとしたエコカーを導入しております。
- ・ISO140001認証を取得し、環境負荷の低減に取り組んでおります。
- ・グリーン購入を推進しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社関電エネルギーソリューション 代表取締役社長 白井 良平
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市北区中之島2丁目3番18号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・PPS事業 電力自由化対象事業所への小売を目的とした電気事業を実施しています。</p> <p>・発電事業 PPS事業等の実施のために、千葉県に子会社が所有する天然ガスコンバインド火力発電所10万kW級があります。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力本部 需給調整部	
	連絡先	電話番号	03-6369-8747
		ファクシミリ番号	03-3562-4500
		電子メールアドレス	pps-transmission_ml@kenes.jp
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(新電力本部)へ問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	10	30

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.506	0.462	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.387	0.410	
調整後CO ₂ 排出係数	0.490	0.447	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

子会社が所有する天然ガスコンバインド火力発電所や他社所有発電所からのFIT電源による電力の活用により、排出係数の削減に取り組みました

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	190	0.94%	1,671	2.59%
(FIT電気)	—	—	1,671	2.59%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

H27年度新たに他社所有発電所からのFIT電源による電力を2,397kW調達し、H28.3末時点で合計3,397kWを調達しています。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度につきましては未利用エネルギー等の調達実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

子会社が所有する天然ガスコンバインド火力発電所において、火力発電熱効率の維持・向上に取り組んでいます。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

お客さまに電気使用量のお知らせサービスを実施するなど、お客さまが効率的に電気をご利用いただけるような働きかけを行いました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

関西電力グループの一員として「関西電力グループ環境行動方針」に基づき、省エネや省CO2などに取り組ましました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社グローバルエンジニアリング 代表取締役 大下 明
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市東区香椎1-1-1 ニシコーリビング香椎2F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用発電設備販売、メンテナンス事業 ・ デマンドレスポンス アグリゲーター事業 東京電力エリア、関西電力エリア、九州電力エリアにて実施 ・ エネルギーマネジメントサービス BEMSアグリゲーター、エネルギーマネジメント事業者として登録 ・ 新電力事業 特定規模電気事業者としての電力卸・小売供給事業 ・ 発電事業 新電力事業実施のために、九州地域に石油火力発電所(約1,000kW)を運開。 他社から再生可能エネルギーを利用した発電所からの電気の調達。 ・ 社会実証事業 経済産業省が行う次世代エネルギー技術実証事業への参加

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	技術部	
	連絡先	電話番号	03-6452-9801
		ファクシミリ番号	03-6452-9802
		電子メールアドレス	ge.denki01@g-eng.co.jp
公表の 担当部署	名称	技術部	
	連絡先	電話番号	03-6452-9801
		ファクシミリ番号	03-6452-9802
		電子メールアドレス	ge.denki01@g-eng.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問い合わせ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	7

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.502	0.479	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.456	
調整後CO ₂ 排出係数	0.598	0.458	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電所からの供給を開始し、再生可能エネルギーを導入。 ・都内の事業者に対して、デマンドレスポンスを用いた負荷平準化の取り組みを実施。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	40	3.95%	539	3.63%
(FIT電気)	-	-	539	3.63%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電所からの調達を実施。2015年4月より供給開始。引き続き積極的な導入の推進。
--

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・未利用エネルギー等による発電所からの電源調達計画はないため、取組実績等なし。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・日常点検をととして、燃料消費量等の把握に努めることにより早期に異常を発見する体制を整え、実践。
- ・燃費の高い負荷率で運転できるように、他の電源調達と調整し、運用。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・エネルギーの見える化を推進するために、お客様毎にインターネットを通じてエネルギー使用量の閲覧する事を可能とするシステムの運用を継続開発。
- ・エネルギーマネジメントシステムを通し、お客様にエネルギー使用量の見える化の実施を継続。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・お客様の省エネ・CO2削減などの課題を解決するため、エネルギーマネジメントシステムなど総合的な提案の実施を継続。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社洗陽電機 代表取締役 乾 正博
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	兵庫県神戸市東灘区住吉宮町3丁目7番14号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■事業の三大柱「エネルギークリエーション」「エネルギートレード」「エネルギーセービング」を中心に、エネルギーの川上から川下までを組み合わせた独自のシナジーを創出し、エネルギーの総合プロデュース&エンジニアリング企業をめざします。</p> <p>【エネルギークリエーション】 現在、全国規模で再生可能エネルギー（バイオマス、太陽光、地熱、水力など）の電源開発と売電事業を進めています。</p> <p>【エネルギートレード】 2016年8月現在、全国7エリア（東北・東京・中部・関西・中国・四国・九州）で、特別高圧、高圧、低圧のお客さまに電力を供給しております。</p> <p>【エネルギーセービング】 エネルギーセービング事業では、「エネマネ事業者」「BEMSアグリゲータ」「MEMSアグリゲータ」の採択を受け、全国で省エネサービス事業を展開しています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギートレード本部 需給管理課	
	連絡先	電話番号	078-851-8874
		ファクシミリ番号	078-851-8829
		電子メールアドレス	koyopps@koyoelec.com
公表の 担当部署	名称	総合企画部 経営管理課	
	連絡先	電話番号	078-851-8869
		ファクシミリ番号	078-851-8829
		電子メールアドレス	contact@koyoelec.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	株式会社洗陽電機		
		所在地:	神戸市東灘区住吉宮町3丁目7番14号		
		閲覧可能時間	10:00～17:00		
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.471	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.474	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

事業開始した前年度の実績を鑑み、温室効果ガスの排出量抑制に向けた対策と目標を設定致します。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	165	6.21%
(FIT電気)	-	-	165	6.21%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

当社は全国で、太陽光、水力、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーの開発を手がけております。新電力事業の開始にあたり、既存顧客や当社が所有するFIT電源からの受給など、再生可能エネルギー由来の電力調達を拡大してきました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

官公庁が所有する廃棄物発電や相対契約などを通じて、未利用エネルギーを活用した発電電力の調達に努める。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

当社は火力発電所を所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- 当社は経営理念に「未来の子どもたちのために より良い地球環境を残します」を掲げております。
- 当社事業の重要な柱である「グリーンエネルギーの開発事業」を通し、地球環境に貢献する当社事業をご紹介します。
- 高圧のお客さまには、WEB上で電力使用量がリアルタイムで閲覧できるサイトを提供しております。この電力使用の「見える化」を実施し、省エネルギーを促しております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

全社を挙げて、「クールビズ」「ウォームビズ」、昼休みの消灯などの節電に積極的に取り組んでおります。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社サイサン 代表取締役社長 川本 武彦
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-5

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	・電力事業 弊社は、工場やオフィスビルなど電力自由化の対象事業所への小売りを目的とした電力事業を実施しております。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	株式会社サイサン エネルギー事業部	
	連絡先	電話番号	048-783-1134
		ファクシミリ番号	048-783-1140
		電子メールアドレス	info-ene@saisan.co.jp
公表の 担当部署	名称	株式会社サイサン エネルギー事業部	
	連絡先	電話番号	048-783-1134
		ファクシミリ番号	048-783-1140
		電子メールアドレス	info-ene@saisan.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2016年08月01日	～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.399	0.400	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.000	0.045	
調整後CO ₂ 排出係数	0.547	0.518	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

再生可能エネルギーなど環境負荷の低い電源を積極的に調達しております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	151	28.91%	790	24.14%
(FIT電気)	—	—	790	24.14%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・木質バイオマス発電所から電源を調達しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・未利用エネルギーで発電された電力の調達を検討しております。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・企業の生産活動に支障をきたさない範囲で節電をお願いしております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・再生可能エネルギーの普及促進を目指し、メガソーラー発電所を建設・運営しております。
・オフィスにて、夏はクールビズ、冬はウォームビズ活動を実施しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社サニックス 代表取締役 宗政 伸一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区博多駅東2-1-23

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力の小売事業を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	092-436-8898
		ファクシミリ番号	092-233-1343
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	新電力事業部	
	連絡先	電話番号	092-436-8898
		ファクシミリ番号	092-233-1343
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署へ問合せ				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.465	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	-	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.750	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

排出係数の削減に向けて、環境負荷の低い電力の調達に努めていきたい。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	60	13.20%
(FIT電気)	-	-	60	13.20%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

FIT電気(太陽光)を調達していますが、今後も再生可能エネルギーによる電力の調達に努めていきたい。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーについては利用していません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社等発電所を所有していません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

電力使用状況を各需要家に提供しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

電気使用量、紙使用量の削減に努めています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	サミットエナジー株式会社 代表取締役 達下 篤
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区晴海1-8-11

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業、特定送配電事業 弊社は、小売電気事業、特定送配電事業を営んでおります。2001年7月1日より、関西電力管内での小売を皮切りに、同年10月1日からは中部電力管内で、2004年7月1日から東京電力管内、2005年7月1日から東北電力管内、2009年6月より九州電力管内、2015年3月より北海道電力管内で、小売電気事業を開始し現在に至っております。</p> <p>・発電事業 関係会社においては、発電事業を営んでおります。発電事業所の概要は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サミット美浜パワー株式会社(千葉県千葉市) 57MW (火力:都市ガス) ・サミット明星パワー株式会社(新潟県糸魚川市) 50MW (火力:木屑/石炭) ・サミット小名浜エスパワー株式会社(福島県いわき市) 50MW (火力:石炭)

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-5166-4492
		ファクシミリ番号	03-5166-6271
		電子メールアドレス	summit@summit-energy.co.jp
公表の 担当部署	名称	業務部	
	連絡先	電話番号	03-5166-4492
		ファクシミリ番号	03-5166-6271
		電子メールアドレス	summit@summit-energy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	https://www.summit-energy.co.jp/
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	
		所在地:	
		閲覧可能時間	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
		入手方法:	
	<input type="checkbox"/> その他		

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	28	84

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.373	0.425	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.360	0.409	
調整後CO ₂ 排出係数	0.471	0.530	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

平成27年度においてもグループ発電所において発電効率の改善努力、木屑バイオマス投入量の増加等の取組を継続するとともに、供給力が逼迫する局面においては稼働率を上げ、余剰電力を電力会社へ提供する等の運用を臨機応変に行いました。その他低排出係数電源であるごみ発電所からの余剰電力や、水力発電、太陽光発電、風力発電からの調達も増やしております。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	35,579	46.66%	67,467	34.12%
(FIT電気)	—	—	32,898	16.64%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

- ・関係会社であるサミット明星パワー(株)(木屑バイオマス発電所)より、再生可能エネルギーを調達しております。
- ・バイオマス発電所の開発、風力発電所の開発に取り組んでおります。
- ・太陽光発電や風力発電からの調達も増やす努力(調整力との兼ね合い)も進めております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
5,069	6.42%	12,756	6.45%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

前年度に引き続き、平成26年度も調達している廃棄物発電所において未利用エネルギーの活用をしております。今後も同様の取組を行っている発電所からの調達を検討しております。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・サミット美浜パワー: 発電設備のDSSを採用しているが、運転中は極力定格出力に近い運転点において運用し発電効率向上を保つ取り組みを行っており、かつ蒸気を併給する事で総合効率の向上をはかっています。また、更なる総合効率の向上に向け、発電設備の増設を実施し、平成28年1月より営業運転を開始しております。
- ・サミット明星パワー: 木屑の収集及びPKS(椰子殻)を使用し、バイオマス燃料の混焼比率を高める努力を継続的に行っております。また、設備の安定運転に努めると共に、故障の再発防止に継続して取組み、ロスの減少に努めております。同発電所においても、東日本における供給力が逼迫する局面においては稼働率を上げる運用を行っております。
- ・サミット小名浜エスパワー: 東日本大震災で蒸気の供給先が被災したことにより総合効率が低下しておりますが、効率回復のために余剰蒸気を有効活用すべく蒸気タービンの増設工事を行っており、本年12月に完工予定です。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家の皆様に、新エネルギー等についての情報や、その他地球温暖化対策推進のための情報を提供しております。
- ・一部需要家に対して電気の見える化サービス(30分毎の電気使用量をWEB上で確認できるサービス)の提供を開始しており、提供範囲を広げる方針で取り進めております。
- ・サミット明星パワーにて発生したグリーン電力環境価値の販売活動を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・ごみの分別・減量・リサイクルを推進するべく、オフィスビル全体で分別品目を統一し、品目別ゴミ計量システムを導入し利用者毎・品目毎のゴミ排出量を計量しております。
- ・省エネルギー対策として、空調設定温度の省エネモード化、ノーネクタイの実施、夜間・休日のOA機器電源OFF等による電気量削減・空調負荷低減に取り組んでおります。
- ・弊社の子会社であるサミット明星パワー(株)がグリーン電力認証機構によりグリーン電力認証を取得しました。東京都内各施設様を始めとする需要家の皆様への販売活動を積極的に行っております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社G-Power 代表取締役 近藤 悠平
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区六本木1-8-7

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	弊社は、小売電気事業者として、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく調整後排出係数がゼロとなる電気の販売を目的として創立されました。今後も供給先の拡大を通じて社会に広くCO2負荷の低い電力を浸透させていきたいと思ひます。現在、自社発電所は所有しておりませんが、他社からの再生可能エネルギーの調達比率を最大化してまいります。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	グループ戦略室	
	連絡先	電話番号	03-5544-8671
		ファクシミリ番号	03-5544-8404
		電子メールアドレス	fpower-opc@f-power.co.jp
公表の 担当部署	名称	グループ戦略室	
	連絡先	電話番号	03-5544-8671
		ファクシミリ番号	03-5544-8404
		電子メールアドレス	fpower-opc@f-power.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日			～	2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:					
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	株式会社F Power				
		所在地:	東京都港区六本木1-8-7				
		閲覧可能時間	平日 10:00-17:00				
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:					
		入手方法:					
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	問合せがあればメールやFAXで開示					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量 (単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	0	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況 (単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.003	0.000	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.420	-	
調整後CO ₂ 排出係数	0.018	0.000	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

清掃工場余剰電力入札による調達、再生可能エネルギー電源を持つ他社との受電契約、再生可能エネルギー電源の新規開発などに積極的に取り組んで参ります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	520	100.00%	312	100.00%
(FIT電気)	-	-	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

東京都の一般競争入札にて、東京都交通局多摩水力発電所ほかの受電契約を平成25～26年度分落札、H27～29年度分も継続して落札し、受給しております。ほかの再生エネルギー調達も引き続き推進しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

清掃工場からの余剰電力購入(入札等)に積極的に参加、確保の努力を継続しております。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は所有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・デマンドレスポンスなど節電協力のメニューの展開、システム開発
- ・電気事業者の排出係数について、調整後のみならず実排出係数の低減によるアピール、意識啓蒙
- ・省エネルギー診断のコンサルティングや協力会社との連携

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

社内では省エネ、節電対策を取ることで社員の意識改革を行っております。モニターの節電設定、クールビズの奨励、空調温度の28度設定などを行っております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	JXエネルギー株式会社 代表取締役社長 杉森務
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区大手町一丁目1番2号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	2003年度より当社根岸製油所の自家発電設備を利用し、特定規模電気事業を開始しました。 2008年度には電源の主力となる川崎天然ガス発電所を開所し、コスト競争力と環境への配慮の両立を目指した電源の拡充を進めています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電気事業部 電気業務グループ	
	連絡先	電話番号	03-6257-7246
		ファクシミリ番号	03-6213-3482
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	広報部 広報グループ	
	連絡先	電話番号	03-6257-7150
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	http://www.noe.jx-group.co.jp/csr/		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
		入手方法:			
	<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	368	517

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.434	0.496	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.405	0.480	
調整後CO ₂ 排出係数	0.415	0.474	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・2009年に天然ガスを燃料とした高効率で環境負荷の低い川崎天然ガス発電所が通年稼働を開始し、小売の主力電源となっています。
 ・再生可能エネルギー電源の開発、調達を進めており、2010年度より柿の沢水力発電所、川崎バイオマス発電所からも電力調達を開始しています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	115,717	13.65%	134,202	12.88%
(FIT電気)	—	—	11,381	1.09%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・再生可能エネルギー電源の開発と調達に努めており、引き続き柿の沢水力発電所、川崎バイオマス発電所から電力の調達を行いました。
 (2015年度より柿の沢水力発電にFIT適用)
 ・2015年度は桐生市清掃センター発電所からも電力の調達を行いました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
56,872	6.44%	52,709	5.06%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・仙台製油所では、精製装置から発生する副生ガスを利用した発電を行っており、また発電設備から発生した排熱を回収して再利用するなど、未利用エネルギーの効率的利用に努めています。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・2009年に天然ガスを燃料とした高効率で環境負荷の低い川崎天然ガス発電所が通年稼働を開始し、小売の主力電源となっています。

・熱効率の向上を図るため、安全安定操業に努めています。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・2011年7月より「消費電力管理システム」を需要家へ展開し、インターネット上で消費電力状況を照会可能としました。「電力の見える化」によって、需要家の省エネルギー、消費電力平準化等へ貢献しております。

・需要家から要望があった場合にはCO2排出係数の説明を随時行っています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・環境ハイオクガソリン「ENEOS NEW ヴィーゴ」、バイオマス燃料など、当社グループの環境配慮商品の普及促進に努めています。
・社会貢献活動の一環として「公益信託ENEOS水素基金」を創設し、水素エネルギー供給に関する基礎研究に対し助成金を支給し、安定的な研究の継続を助成しています。
・世界銀行コミュニティ開発炭素基金(CDCF)に出資し、世界銀行を通じて温暖化ガス削減に貢献するとともに、日本温暖化ガス削減基金(JGRF)へ参画しています。
・全国でメガソーラー発電事業を展開し、14か所約35MWの売電を行っています。(2015年度実績)
・秋田県および神奈川県で風力発電事業を展開し、2か所3.5MWの売電を行っています。(2015年度実績)
・グループ会社であるJX石油開発では、2014年よりアメリカでEORプロジェクト(火力発電所から排出されるCO2の圧入により原油の増産を目指すとともに、CO2を地中封入)に参画しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	シナネン株式会社 代表取締役 田口 政人
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都港区海岸一丁目4番22号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・小売事業 シナネン株式会社は、オフィスビルや工場、倉庫等の特別高圧・高圧需要家や低圧需要家への電力小売事業を行っております。 ・発電事業 小売事業実施のために、群馬県及び静岡県に太陽光発電所(約3MW)を所有しています。また、7月に福島県に太陽光発電所(約2.3MW)を竣工しました。また廃棄物発電(約3MW)を購入しています。 ・その他 省エネやコスト削減に関する、総合的な診断及び提案を行い、ワンストップでサポートしています。 <ul style="list-style-type: none"> ・建物、室内環境設備を加えた総合省エネ診断で運用改善提案 ・最適なエネルギー調達改善提案 ・機器入替え等による、設備改善提案

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力供給部	
	連絡先	電話番号	03-5470-7332
		ファクシミリ番号	03-5470-7187
		電子メールアドレス	
公表の 担当部署	名称	電力供給部	
	連絡先	電話番号	03-5470-7332
		ファクシミリ番号	03-5470-7187
		電子メールアドレス	

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署で適宜開示します。			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	5

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.389	0.310	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.001	
調整後CO ₂ 排出係数	0.502	0.345	
			91%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

・J-クレジットの活用により、6,000t-CO₂のカーボンオフセットを実施しました。今年度も排出権の購入を検討しています。

・廃棄物発電を購入し、排出係数の削減を目指しています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	425	27.89%	2,129	12.75%
(FIT電気)	-	-	2,129	12.75%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

7月に福島県に太陽光発電所(約2.3MW)を竣工しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	5,201	31.16%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

千葉市の清掃工場から約17MWの廃棄物発電による電気を購入しました。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は保有しておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要家の省エネ要望に役立つような使用電力の分析を行い、省エネの提案を実施しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・使用電力の削減提案を実施しています。
- ・照明や空調の使用方法、事務機器の利用方法のルール化等により、運用改善を実施しています。
- ・照明や空調、給湯機器、コジェネ等の設備改善の提案を実施しています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	昭和シェル石油株式会社 代表取締役社長 グループCEO 亀岡 剛
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	〒135-8074 東京都港区台場2丁目3番2号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■小売電気事業 自社所有の発電所を電源とし、高圧電力小売販売に加え、2016年4月より自由化された家庭向け低圧電力小売り事業を開始しています。</p> <p>■発電事業 高効率大型天然ガス火力発電所「扇島パワーステーション」、バイオマス燃料を使用する「京浜バイオマス発電所」などの自社発電源を大消費地である京浜地区に有しており、国内電力の安定供給に貢献するとともに、持続可能かつ環境に優しい電力供給に取り組んでいます。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	電力需給部企画課	
	連絡先	電話番号	03-5531-5668
		ファクシミリ番号	03-5531-5788
		電子メールアドレス	power-pla@showa-shell.co.jp
公表の 担当部署	名称	電力需給部企画課	
	連絡先	電話番号	03-5531-5668
		ファクシミリ番号	03-5531-5788
		電子メールアドレス	power-pla@showa-shell.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:			
		所在地:			
		閲覧可能時間			
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
	入手方法:				
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署にて適宜開示します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	64	71

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.375	0.299	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.346	0.270	
調整後CO ₂ 排出係数	0.356	0.388	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

省エネルギー性に優れたガスタービンコンバインドサイクルを採用し、高負荷・高効率運転に努め、CO₂削減を図っています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	51,148	21.54%
(FIT電気)	—	—	51,148	21.54%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

2015年11月に当社出資会社(株)京浜バイオマスパワーにてバイオマス火力発電設備(発電出力4.9万kW)が運転開始しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等による発電はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

- ・最適なポートフォリオによる販売計画および日々の需要予測の精度向上により、設備利用率を向上、効率の向上に努めました。
- ・扇島パワー3号機(発電出力40.7万kWのうち当社持分25%)を2016年2月に運転開始しています。1・2号機同様、発電効率約58%の省エネルギー性に優れたガスタービンコンバインドサイクル設備です。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・CO2排出係数や電源構成を開示する等情報提供を行っています。
- ・お客様の省エネルギー対策をサポートするため、小売電気事業において需要家に対し過去やリアルタイムの消費電力量を提供できるウェブサイトを構築しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

- ・2015年のグループ製油所のエネルギー消費原単位は7.46(原油換算KL/換算通油量千KL)となり、1990年比21%の削減となり、年平均約1%程度の消費原単位削減を達成しています。
- ・自家所有のサービスステーション、および太陽電池工場などに自社グループで生産した太陽光パネルを設置し、発電したエネルギーを自家利用しています。2015年に自家利用した発電量は約56,000,000kWhとなり、これは国内製油所における電力使用量1,663,864,000kWhの約3.4%に該当します。
- ・子どもエネルギー教室を昭和シェル石油本社のある台場地区の近隣小学校や、新潟にある「新潟雪国型メガソーラー」に併設する研修施設で実施し、2015年は410名の子どもたちが参加しました。
- ・東日本大震災に起因する国内電力需給問題への対応として、2011年から2012年にかけてソーラーフロンティアの太陽電池パネルを、当社所有のSSに設置を進めました。2015年末現在、425ヵ所のSSで、照明などの電力を賄っています。また、新規出店や改造の際にはLED照明を採用し、節電効果を上げています。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社新出光 代表取締役 出光泰典
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	福岡県福岡市博多区上呉服町1-10

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none"> ・電力小売事業 ・石油類の販売 ・LNG(液化天然ガス)、LPGの販売 ・太陽光発電システムの販売、蓄電池の販売(設計・施行) ・レンタカー、新中古車販売・買取、カーケアショップの運営 ・アドブルー、LEDの販売 ・コインランドリーの運営 ・使用済み油脂・水溶性液剤の出張ろ過処理サービス ・EMS

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギー事業部 電力事業課	
	連絡先	電話番号	092-291-4160
		ファクシミリ番号	092-271-0946
		電子メールアドレス	idexg00126@idex.co.jp
公表の 担当部署	名称	エネルギー事業部 電力事業課	
	連絡先	電話番号	092-291-4160
		ファクシミリ番号	092-271-0946
		電子メールアドレス	idexg00126@idex.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年09月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	本社3F電力事業課
		所在地:	福岡県福岡市博多区上呉服町1番10号
		閲覧可能時間	平日9:00 ~ 17:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	—	0.415	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	—	0.516	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

2015年12月から東京電力管内で電力小売を開始しておりますが、規模的に小さいため購入できる電源が限られており取組は実施できておりません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	76	14.75%
(FIT電気)	—	—	76	14.75%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

東京電力管内での電力小売開始に向けて積極的に太陽光の調達を行いました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

特に取組は行っていない。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

火力発電所は保持していない。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

- ・需要家へWEB上での電気使用量の提供。
- ・需要家へ最大需要電力が設定値を超えた場合にメールで通知する。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	新日鉄住金エンジニアリング株式会社 代表取締役社長 藤原 真一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都品川区大崎一丁目5番1号 大崎センタービル

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<ul style="list-style-type: none">・電力供給事業 弊社は、工場やオフィス、商業施設といった事業所への電力小売を実施しております。主な供給力として、他社発電所(工場等の自家用発電設備の余剰等)・卸電力取引所などから電力の調達を行っております。・発電事業 特定規模電気事業実施のために、約10万kWの自社等火力発電所を運営しています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギーソリューション事業部 電力ビジネス部	
	連絡先	電話番号	03-6665-3560
		ファクシミリ番号	03-6665-4826
		電子メールアドレス	power-business@eng.nssmc.com
公表の 担当部署	名称	同上	
	連絡先	電話番号	同上
		ファクシミリ番号	同上
		電子メールアドレス	同上

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日 ~ 2017年07月31日		
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:	
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	新日鉄住金エンジニアリング(株)本社
		所在地:	東京都品川区大崎一丁目5番1号
		閲覧可能時間	10:00~16:00
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:	
	入手方法:		
<input type="checkbox"/> その他			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	304	407

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.523	0.635	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.527	0.657	
調整後CO ₂ 排出係数	0.533	0.633	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

発電設備の燃料消費量・CO₂の抑制に向けて、効率的稼働を目指した計画策定等に努めました。また、卸電力取引所の活用等においても、発電設備の効率的な稼働を視野に入れた調達に努めることで、削減に取り組みました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	9,264	1.59%	22,809	3.56%
(FIT電気)	—	—	20,526	3.20%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・北九州市響灘地区において15,000kWの風力発電所(関連子会社)をH15/3から運転開始し、九州電力殿向けに売電を行っております。
 ・再生可能エネルギーの利用促進に向け、弊社グループが運営を委託されている廃棄物処理施設の余剰電力や弊社グループの太陽光発電設備からの受電を開始し、更なる活用等の検討を継続しております。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
3,865	0.65%	14,110	2.20%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・弊社グループが運営を委託されているごみ処理施設からの余剰電力を特定規模電気事業用に活用しております。また新日鐵住金グループで使用する電気の一部は「工場の廃熱又は排圧」を利用した発電(CDQ:コークス乾式消火、TRT:高炉炉頂圧回収タービン)により賄う等、未利用エネルギーの活用に取り組んでおります。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・発電設備の平均稼働出力を向上させることで、機関の熱効率の向上を図ることや、補機の稼働台数を減らすなど所内動力の抑制・送電端での電力利用の向上を図ること等を、継続的に取り組んでおります。・他社等発電設備については、CO2排出量の把握への協力を通じ、発電所の稼働状況の把握に努めております。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・需要家・発電家の要望に応じ、お客さま専用Webサイト等を通じた現在の消費・発電電力量の情報提供を行っております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・新電力の温暖化対策について、弊社も当該自主行動計画に参加し、温暖化対策への取り組みを進めて参りました。引き続き、温暖化対策の動向を踏まえ、本年2月に発足した電気事業低炭素社会協議会に参加し低炭素社会の実現に向けて取り組んで参ります。

・新日鐵住金グループとして、製鉄所やオフィスでの一層の省エネ努力に加え、製鉄所の発電設備を活用した電力会社への電力供給や、従業員に対する家庭での環境家計簿を利用した省エネの呼びかけ等を行い、当面のエネルギー需給対策に貢献しております。 また、3つのエコ

- ・エコプロセス (事業活動の全段階における環境負荷の低減)
- ・エコプロダクツ® (環境配慮型製品の提供)
- ・エコソリューション (地球全体を視野に入れた環境保全への解決提案)

と革新的技術開発による低炭素社会実行計画を推進しております。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社S-CORE 代表取締役 渡部 健
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都千代田区神田駿河台2丁目5番地1

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	電力の売買・仲介/電気小売り事業 【供給エリア】 東京電力管内(一部離島を除く) 【供給対象】 電圧区分が高圧、特別高圧の法人需要家 【特徴】 CO2排出量の少ない電力を使いたいというご要望にお応えするため、太陽光やバイオマス由来の再生可能エネルギーを中心に扱い、小売供給を行っています。

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	需給マネジメント部	
	連絡先	電話番号	03-5284-7806
		ファクシミリ番号	03-5284-9806
		電子メールアドレス	s-core@eneres.co.jp
公表の 担当部署	名称	需給マネジメント部	
	連絡先	電話番号	03-5284-7806
		ファクシミリ番号	03-5284-9806
		電子メールアドレス	s-core@eneres.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	公表依頼があれば都度開示			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	0

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率	
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.158		71%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.000		
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.391		

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

温対法に基づく調整後CO₂排出係数(排出権取引を含む)においては、ゼロとなる電気供給を目標として小売事業をスタートし、再生可能エネルギーの調達および排出権取引を実施しました。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	2,094	89.92%
(FIT電気)	-	-	1,097	47.12%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

太陽光発電、バイオマス発電による電気の調達を実施しました。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
-	-	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

取り組みを行っておりません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で火力発電所を保持していないため、取組を行っておりません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

特になし。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

特になし。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	鈴与商事株式会社 代表取締役社長 脇本 省吾
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	静岡県静岡市葵区栄町1-3 鈴与静岡ビル6F

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業 弊社は、工場や事務所といった大口需要家など電力自由化対象事業所への小売を目的とした事業を実施します。</p> <p>・その他 お客様のエネルギーコスト削減をサポートする為、お客様の30分毎の電力使用データを基に、毎月電力使用実績を送付し、電力の運用改善の提案をしております。 また、省エネ対策として、空調・LEDの更新等による機器改善のご提案を行っております。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	エネルギーシステム営業部 電力営業課	
	連絡先	電話番号	054-273-7761
		ファクシミリ番号	054-273-7794
		電子メールアドレス	power-management@ss.suzuyoshoji.co.jp
公表の 担当部署	名称	エネルギーシステム営業部 電力営業課	
	連絡先	電話番号	054-273-7761
		ファクシミリ番号	054-273-7794
		電子メールアドレス	power-management@ss.suzuyoshoji.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2016年08月01日	～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	鈴与商事株式会社	
		所在地:	静岡県静岡市葵区栄町1-3	
		閲覧可能時間	9:00～17:55	
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:		
	入手方法:			
<input type="checkbox"/> その他				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	—	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	—	0.435	100%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	—	—	
調整後CO ₂ 排出係数	—	0.556	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

前々年度実績がございません。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	—	—	192	13.92%
(FIT電気)	—	—	192	13.92%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・現時点では、再生可能エネルギーによる電力を年間192,000kWh調達しています。
--

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では、未利用エネルギー等の電力調達実績はございません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

現時点では、火力発電所の電力調達実績はございません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・お客様のエネルギーコスト削減をサポートする為、お客様の30分毎の電力使用データを基に、毎月電力使用実績を送付し、電力の運用改善の提案を行いました。
また、省エネ対策として、空調・LEDの更新等による機器改善のご提案を実施しました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・弊社全体から排出されるCO2排出量の削減対策として、鈴与東静岡ビルにおいては、太陽光ならびに風力発電を用いた電気自動車(EV)充電ステーションを設置しており、年間972kg-CO2の削減を実現しました。

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	株式会社生活クラブエナジー 代表取締役 半澤 彰浩
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋人形町1-6-9

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>■小売電気事業</p> <p>・弊社は、2015年4月1日より、東京電力管内にて生活クラブ生活協同組合を始めとする需要家(配送センター、店舗、工場等)へ小売事業を開始し、2016年4月1日より、北海道・東北・中部・関西電力管内の生活クラブ生協事業所、同年6月1日から東京電力管内にて組合員(一般)家庭でも小売事業を開始しております。</p> <p>■その他</p> <p>・市民によるエネルギーの自治(市民が自分たちで使うエネルギーを選択し、参加できる社会づくり)に取り組みます。</p> <p>・省エネルギー診断業務や省エネ対策の情報提供等を行っています。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	事業管理部	
	連絡先	電話番号	03-5643-0370
		ファクシミリ番号	03-5643-0371
		電子メールアドレス	sce@scenergy.co.jp
公表の 担当部署	名称	営業部	
	連絡先	電話番号	03-5643-0370
		ファクシミリ番号	03-5643-0371
		電子メールアドレス	sce@scenergy.co.jp

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:		
	<input type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:		
		所在地:		
		閲覧可能時間		
<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:			
<input checked="" type="checkbox"/> その他	担当部署(営業部)に問い合わせ			

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	-	1

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	-	0.319	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	-	0.292	
調整後CO ₂ 排出係数	-	0.392	
			100%

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの利用促進に努めております

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	-	-	1,060	49.95%
(FIT電気)	-	-	391	18.43%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

グループ各社ならび他社からの再生可能エネルギーの調達に努めております。
自社電源は保有していません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギーの利用等調達実績はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社等で保有する火力発電所はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

生活クラブ生協組合員を対象に、省エネ講座を2会場(24会場)で実施し、38名(607名)の参加がありました。「()内は全国数」

2015年7月に環境省「うちエコ診断補助事業」の申請を行い、認定を受けました。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・地域間連携の一環として再生可能エネルギーの調達をすすめていく中で、2015年度は都内の市民団体が保有する4発電所からの調達をすすめました。
・生活クラブグループでは、2020年までにCO2排出総量を25%削減(2007年度比)することを目標としており、2014年度は14%(6,668トン)削減しました。(※生活クラブグループでは総合物流施設が本格稼働した年度であることに鑑み、2007年度を基準年として長期削減計画を策定しています。)

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあつては名称及び代表者の氏名)	総合エネルギー株式会社 代表取締役社長 佐竹 右次
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあつては主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋浜町3-3-2

(2) 事業の概要

発電事業の有無	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電事業の概要も記載すること。)	<p>・小売電気事業</p> <p>東京電力管内において電力小売事業を行っております。 2014年4月より高圧需要家(オフィスビル、店舗、工場、ガソリンスタンド等)へ供給を開始、低圧分野は2016年4月よりガソリンスタンド中心に供給を開始いたしました。</p>

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称	新規事業開発部 新規事業開発グループ	
	連絡先	電話番号	03-5642-8758
		ファクシミリ番号	03-5642-8742
		電子メールアドレス	denki@so-go-energy.com
公表の 担当部署	名称	新規事業開発部 新規事業開発グループ	
	連絡先	電話番号	03-5642-8758
		ファクシミリ番号	03-5642-8742
		電子メールアドレス	denki@so-go-energy.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間	2016年08月01日		～	2017年07月31日	
公表方法	<input type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス:			
	<input checked="" type="checkbox"/> 窓口での閲覧	閲覧場所:	総合エネルギー株式会社 本社		
		所在地:	東京都中央区日本橋浜町3-3-2		
		閲覧可能時間 9:00～17:30			
	<input type="checkbox"/> 冊子(環境報告書等)	冊子名:			
	入手方法:				
<input type="checkbox"/> その他					

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	1	2

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.578	0.685	
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.586	0.712	
調整後CO ₂ 排出係数	0.558	0.658	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

電源調達において排出係数を考慮して仕入先等の選択を行ってまいります。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	0	0.00%	0	0.00%
(FIT電気)	—	—	0	0.00%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点では具体的な取組実績等はありません。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	0	0.00%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

現時点で具体的な取組実績等はありません。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

自社で保有する火力電力発電所はありません。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化の対策の働きかけに係る措置の進捗状況

需要者に対しWebサービスを用意し、電力の使用状況を確認できるよう働きかけております。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

省エネ法上の特定荷主として、自社の貨物輸送に係るエネルギー使用の合理化に取り組んでおります。

事務所における省エネ対策として、温度設定による空調運転、クールビズの実施などの取り組みを実施しております。